

しまね総合診療センター ～NEURAL GP Network～設置

総合診療医センター センター長 しらいし 白石 よしひこ 吉彦

厚生労働省の「総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業」に基づき2020年度末に当院総合診療医センター（通称 しまね総合診療センター）が設置されました。私どもが掲げたコンセプトは、病院の垣根をこえて各地域の総合診療医（GP）が神経細胞のように繋がり補完的に成長しつづけていくことを目標に”NEURAL GP Network”と名付けました。新しい大学病院での働き方として、2021年度は常勤の和足孝之副センター長に加え、月曜は隠岐病院の加藤一朗と小田川誠治が隔週、火曜は浜田市あさひ診療所長の上野伸行、水曜は町立奥出雲病院の遠藤健史、木・金曜は私白石吉彦がセンターで勤務する形をとっています。

我々のミッションは、へき地・離島を含む全ての地域の住民が安心して過ごせるよう優秀な総合診療医を育成し、持続可能な医療を提供し続けることです。また、我々のビジョンはヒエラルキー並びに組織間で壁の無い総合診療医育成の為のネットワークを作り、様々な場所からリアルタイムで教育・研究・臨床のサポートを行うことを掲げています。

新しい試みとして、当センターのwebサイトでは地域医療で活躍する為に必要な症候学、家庭医学等の数多くの良質なビデオコンテンツを国立大学として初めて無料公開しています。これは東西に距離がある島根県の空間的な制限を越えて、優れた臨床教育を提供するために必須です。また島根県で働く総合診療医はどのように志を持ち、現在の地で総合診療を行っているのかについても若い医師に向けて紹介しています。我が国の総合診療医学を牽引する島根の研究業績もわかりやすく報告し、実際に総合診療医が地域医療をどのように楽しんでいるかについても随時アップしていく予定です。是非、一度御覧ください。



<https://shimanegp.com/>

総合診療医センター TEL:0853-20-2217



島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

9月15日～10月14日

対象者：一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生



開催日	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
6/18(金)～9/16(木)	令和3年度 第1回肝臓病教室・家族支援講座	肝疾患相談・支援センター ホームページ上の動画配信	一般 医療	島根大学医学部附属病院 肝疾患相談・支援センター

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



Shimane University Hospital
島大病院ニュース

2021年
9月
Vol.95

NEWS



泌尿器科学講座 教授就任のご挨拶

泌尿器科学講座 教授 和田 耕一郎



2021年8月1日付けで椎名浩昭前教授の後をうけ、泌尿器科学講座を第4代教授として引き継がせて頂くことになりましたので、ご挨拶を申し上げます。

私は1977年に愛媛県松山市で生まれ、松山東高等学校と岡山大学医学部を経て、2002年に岡山大学泌尿器科に入局しました。ロボット手術、尿路結石や上部尿路上皮がんに対する泌尿器内視鏡手術、尿路性器感染症を中心に診療範囲を広げ、2011年から腎移植医療を開始しました。精力的に研究を行うとともに、学生や若手医師に対して共に学び、成長できるような教育を心がけて参りました。2017年にウィーン医科大学に留学し、多くの手術や研究、欧州のすばらしさに触れました。2019年には腎移植に関する研鑽を積むべく、岡山大学を辞して東京女子医科大学に留学し、コロナ禍の1年間で150件もの生体・献腎移植を経験しました。

泌尿器科の守備範囲は非常に広いですが、なかでもロボット手術やゲノム医療を含むがん診療、腎移植を含む腎不全診療、泌尿器内視鏡手術、生殖医療に特に力を入れたいと思っております。これまでの島根大学の診療・研究・教育に私の経験をうまく吹き込み、島根県や山陰地方の医療従事者や住民の方々から厚い信頼が得られるよう努めます。その際には「利他」と「和田の『和』」を意識し、多くの方々や組織と協調して物事を進めて参りたいと思いますので、ご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



東京女子医大で腎移植術（レシピエント）を指導している和田



島根大学病院でda Vinci Xiの執刀開始直前の和田



岡山大学での腎移植術（レシピエント）を行っている和田

問い合わせ先

泌尿器科学講座 医局 TEL: 0853-20-2253

呼吸器外科を開設いたしました! 呼吸器外科学 教授就任のご挨拶

外科学講座 呼吸器外科学 教授 山根 正修

やまね まさおみ
山根 正修



この度、島根大学医学部に呼吸器外科学が講座として新設され、当院での診療を開始いたしましたのでご挨拶、ご紹介申し上げます。

呼吸器外科スタッフとして8月から私、山根正修と富岡泰章、9月からは伊賀徳周の3名と、医師クラーク成相優佳とともに、ご紹介、来院頂いた患者さんに病状をご説明させて頂き、症例に応じた治療プランをご提供いたします。

また肺癌・一般呼吸器外科診療以外に各スタッフは私とともに肺移植医療にも携わって参りました。将来的には呼吸不全の患者さんに対して当院での移植医療の実施を目指していきます。

出雲地方・島根県の方々を中心に最先端の呼吸器外科治療をお届けすべく診療、研究そして人材育成に微力ながら尽力していく所存でございますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

肺癌

縦隔リンパ節転移や周囲臓器に浸潤する進行病変に対しても集学的治療、拡大手術により積極的に根治を目指します。癌の進行に応じて、部分切除、区域切除、拡大区域切除、葉切除、気管支形成術や血管形成術を行います。またダ・ヴィンチ手術によるアプローチができるよう準備しております。



伊賀 徳周

転移性肺腫瘍

大きさ、個数に関わらず原疾患の性質を考慮し、主診療科と連携しながら肺病変の切除を目指します。



富岡泰章

縦隔腫瘍

胸腺腫、囊胞性腫瘍や神経原性腫瘍など良性、悪性とも手術適応に患者背景が強く関与するため判断が難しい症例が多いです。縦隔病変がありましたらお気軽にご相談いただければと存じます。

胸腔内病変の生検

間質性肺炎や診断困難な肺病変に対し、診断と治療を兼ねた切除生検、リンパ腫など縦隔や肺門部リンパ節腫脹に対する生検を行います。

他、手掌多汗症など

手掌多汗症に対する胸腔鏡下交感神経切断術や漏斗胸に対する胸郭形成術についてご相談ください。

呼吸不全患者に対する移植医療

COPD、間質性肺炎、肺高血圧症などの呼吸不全患者に対する肺移植の適応などについてお気軽にご相談ください。適応、ご要望に応じて移植医療施設への橋渡しの支援をさせて頂きます。将来的には当院で移植医療を行う準備も鋭意進めています。

問い合わせ先

呼吸器外科外来 担当: 成相 TEL: 0853-20-2384



島大病院ニュース 2021年9月

ご報告



子宮頸癌に対する妊娠性温存手術を確立しました

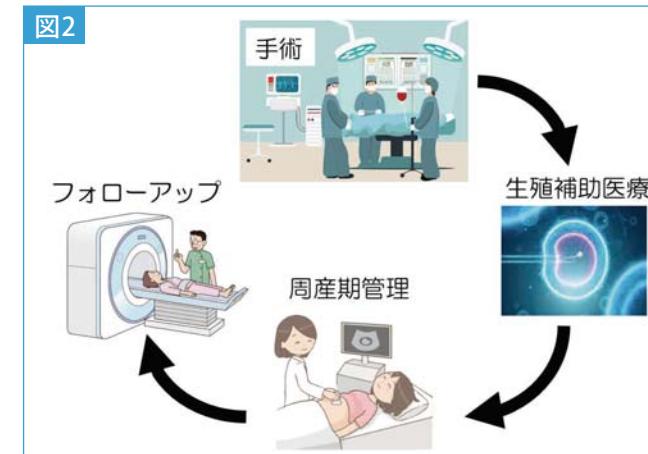
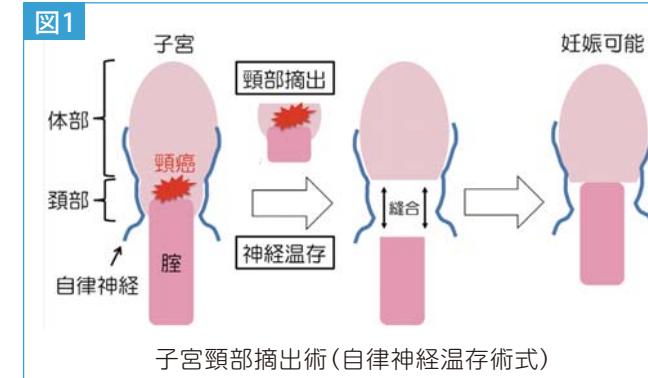
産婦人科学講座 教授 京 哲

子宮頸(けい)癌は近年、若い女性に増えています。原因であるヒトパピローマウイルスが蔓延し、性交年齢も低下しているためです。わが国では年々初婚年齢が上昇し、出産年齢の平均は30歳代前半～半ばとなっています。このような背景により出産経験のない方が子宮頸癌を発症するケースが増えています。

子宮頸癌に罹患すると、従来は子宮摘出手術により妊娠(にんよう)性が失われていたのですが、近年子宮頸癌の発症部位である子宮頸部を摘出し、赤ちゃんが宿る場所である子宮体部を温存した上で、腔と繋ぎ合わせて妊娠性を温存する子宮頸部摘出術(トラケレクトミー)(図1)が提唱されています。当科では全国に先駆けて本手術を行ってきましたが、術後の妊娠率の向上を目指し、残存子宮体部への自律神経を温存する術式を世界で初めて開発しました。この新しい手術により島根県内の複数の患者さんが妊娠され、無事出産に至っています。

本手術を施行した患者さんの妊娠率をさらに向上させるには、術後の高度な生殖補助医療によるサポートが重要です。また妊娠した場合も、子宮頸部がないため早産になりやすく、厳重な周産期管理が必要です。さらには再発がないことをしっかりとフォローする体制も必要です。当科では腫瘍チーム、生殖補助医療チーム、周産期チームの緊密な連携(図2)により、このような体制を確立しております。島根県で子宮頸癌に罹患した女性が安全、安心な妊娠、出産をしていただくようさらなる努力を続けていきます。

問合せ先 産科婦人科 医局 TEL : 0853-20-2268



島大病院ニュース 2021年9月

ご報告

腹痛の意外な原因 ～前皮神経絞扼症候群(ACNES)～

総合診療科 診療科長 教授 牧石 徹也

まきいし てつや
牧石 徹也

前皮神経絞扼症候群という病気をご存知でしょうか。英語では Anterior Cutaneous Nerve Entrapment Syndrome といい、頭文字をとって ACNES と呼ばれます。学生に説明する際はいつも「おつかのうーえー」と裏声で歌って笑いをとろうとするのですが、皆キヨトンとしています。昭和は遠くなりにけりです。腹痛の意外な原因として当院でも時々みかけますので、本日はこのアグネス、ではなかった、アクネスをご紹介したいと思います。

腹壁に分布している皮神経が腹直筋鞘で締め付けられることによって起こると言われており、痛みの種類としては“神経痛”になります。痛みは指1本分位の狭い範囲(患者さんは痛みの部位を指差せる)で、診察する時に両足を持ち上げる、上半身を起こすなど腹筋に力を入れる動作で痛みが強くなるといった特徴があります。ちなみにこれをカーネット徵候陽性と言い、腹痛の原因が腹腔の外か中かを判定する所見として有用です。(島大総合診療科卒業試験必出問題です。)他に、圧痛点周囲の皮膚をつまむと疼痛が増強する、圧痛点周囲の皮膚の触覚や温痛覚の低下などが特徴です。

前皮神経は左右対称に腹直筋の外縁を内から外へ通過するため、圧痛点は腹直筋の外縁に沿って1箇所もしくは複数箇所に存在します(写真)。また理由は不明ながら右側に多いとされ、右下腹部に圧痛点が出現する場合にはしばしば急性虫垂炎と間違われます。女性に多く、十代以降の幅広い年齢層にみられます。大学病院の総合診療科では、下痢も嘔気もなく、血液検査や腹部超音波検査、さらにはCT検査も正常で、原因不明の腹痛として紹介をいただくことが多い印象です。治療は圧痛点へのリドカイン皮下注射です。1回で著効することがありますが、しばしば、しばらくの間1～2週おきに注射を必要とすることもあります。

総合診療科では開業医の先生方からの紹介をお待ちしております。何卒よろしくお願い致します。



×印のある部位が典型的な圧痛点
(J Am Board Fam Med. 2013;26:738-44より引用)

問合せ先 総合診療科 医局 TEL 0853-20-2635



2021年9月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2021年9月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2021年9月

ご報告

医療者、力を合わせ頑張っています! COVID-19重症肺炎患者ケア

集中治療部 副部長 准教授 にかい てつろう
二階 哲朗

当院では島根県内で重症化した COVID-19 肺炎患者さんの受け入れを行ない、地域医療に貢献しています。軽症から中等度までは抗ウイルス薬やステロイド治療、必要に応じて酸素投与になりますが、重症化した場合は人工呼吸管理および ECMO 装着などの高次治療が必要になります。当院はその重要な責務を果たすべく、医療者一丸となり準備を進め、診療にあたっています。

COVID-19 重症肺炎患者さんではウイルスによる肺炎が早期に収束する治療と同時に、適切な酸素化を保ち、後遺症となる肺障害を起こさないように、鎮静や鎮痛の治療、呼吸努力を抑える人工呼吸管理と全身管理を行なうことが重要になります。そして回復した際に筋力の低下など、日常生活が損なわれないよう、リハビリテーションや栄養管理を積極的に行ないます。

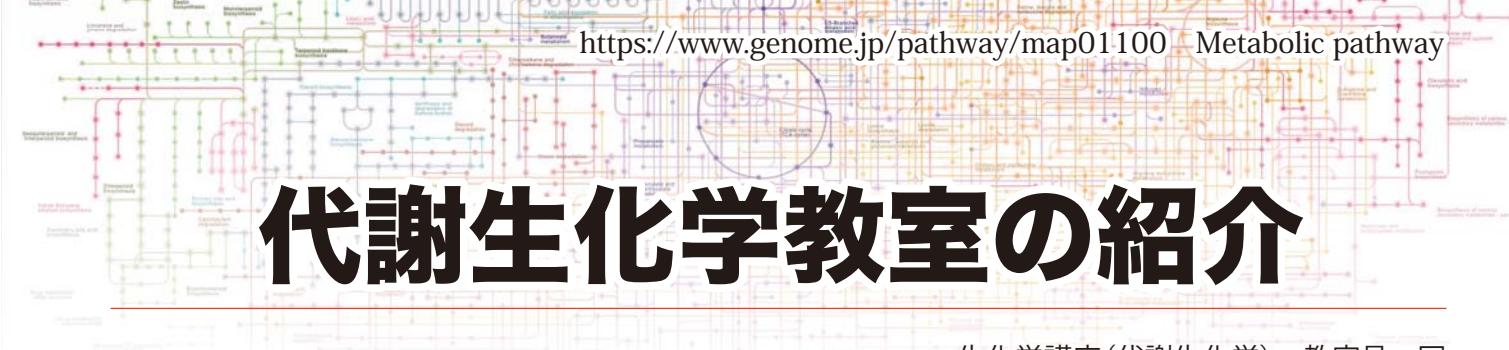
また COVID-19 ではしっかりと感染対策を取りながら医療を行なうことになりますが、当施設で陰圧室の整備や紫外線装置などの設備を充実させています。また重症ケアに関わる医師・看護師はトレーニングを重ね、安全に治療を行っています。通常の診療以上に過酷な医療環境ではありますが、医師・看護師は力を合わせ、これまで培ってきたチーム医療をフル活動し、この困難を乗り切っていきます。

重症化した肺炎は治療に難渋します。日々の感染予防を行ない、ワクチンの接種が何よりも重要です。早期のコロナ感染症収束を祈るばかりです。



島大病院ニュース 2021年9月

お知らせ



代謝生化学教室の紹介

生化学講座(代謝生化学) 教室員一同

島根大学医学部生化学講座(代謝生化学教室)では病態生化学教室と共に、医学部医学科の生化学教育において中心的な役割を果たしております。特にこれまで、土屋美加子教授が主体となって進めているチュートリアル教育は、基礎医学教育の中での導入は珍しく、学年の早い段階から臨床的な意識を持てるような工夫がなされております。この様子は日本医師会発行の『ドクターラーゼ』No.30 (2019.7)にも紹介されており、生化学を受講した学生が受けた、高い充実度を知ることができます。

代謝生化学教室ではそれぞれが以下のようなテーマを持って研究を進めています。

① NAD⁺の代謝

長寿に関わるとされる脱アセチル化酵素サーチュイン1 (SIRT1) の活性化因子である NAD⁺の細胞内濃度制御機序の解明を目指している。

② 毒性影響のプロテオミクス

有機塩素化合物による肝傷害で見出した低分子化合物の、選択性の高い標的タンパク質への修飾と肝傷害の関連を明らかにする。

③ 結合組織の生化学的解析

主に実験動物などを用いて関節を構成する軟骨や靭帯の組織についてその構成成分の生化学的解析を行っている。



生化学実習風景

問合せ先 代謝生化学教室 TEL: 0853-20-2120





島大病院ニュース 2021年9月

ご報告



7月8日(木)にイベント「七夕会」を行いました。1週間前から、玄関や各保育室には笹に短冊や飾りをつけて七夕への準備開始。短冊は例年、和紙を数色の淡い色合いで子どもたちが染めたものを使っています。

七夕会では、まず最初に各クラスの子どもたちが作った笹飾りの紹介をしました。大きいクラスの子どもたちは「何を作ったのか」「どんなところが難しかったか」「どんな材料を使って作ったのか」など、それぞれに工夫を凝らした飾りをしっかりとわかりやすく説明してくれました。短冊には保護者の皆様の「コロナが早く収まり、色々なところへお出かけしたい」「子どもたちがすくすくと育ってほしい」などの願いが書かれています。

その後はお楽しみのブラックパネルシアター。「七夕の由来」についてのお話で、ブラックライトに照らしされた織姫と彦星の姿を食い入るように見ていた子どもたち。キラキラ光る光景に小さい子どもたちも興味津々でした。次に紙芝居を通して七夕にちなんだクイズに挑戦!みんなしっかりとブラックパネルシアターを見ていたので、クイズは大盛り上がりで「はい!はい!」と大きな声で発表したり、友だちと答え合わせをしたりする様子も見られました。

最後に「たなばたさま」のうたを元気よく、お空の織姫や彦星に聞こえるように歌って終わり、楽しい七夕会となりました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、うさぎ保育所の廊下には年長児が作った天の川やお星さまが飾られており、天井を見上げて歓声をあげたり、「きれいだね~、織姫と彦星は会えたのかな~?」とお話を弾んでいました。



お問い合わせ先
0853-20-2016 (総務課)



2021年9月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2021年9月

ご報告

新しい個人用多用途透析装置を導入しました

血液浄化治療部 部長 いとう 伊藤 たかふみ 孝史

当院の血液浄化治療部は、腎移植の周術期管理を目的として1987年に2床で開設され、現在は血液透析導入症例、急性腎不全症例、慢性維持透析患者さんが検査・治療目的で入院した場合を治療対象として、ベッド数10床で診療に取り組んでいます。

この度、2021年3月に10台のうち7台の個人用多用途透析装置を最新の装置に更新しました。

今回導入した個人用多用途透析装置の大きな特徴は、以下の3つです。

①昇圧式血圧計の搭載

昇圧中に血圧測定を行うため、測定時間の短縮、カフ過剰圧力の防止が可能です。

②透析用血液回路セット（アーチループ[®]）の搭載（今後導入予定）

シンプルな回路構成でセッティングにかかる業務時間の短縮、プライミングボリュームの低減、体外循環中の血液とエアの接触の低減を実現しています。

③血液量モニター、透析量モニター、静的静脉圧監視機能の搭載

従来の循環血流量測定や再循環率測定に加え、体外循環血流量、プラズマリフィリングレート、ヘマトクリット測定が可能で、透析中に設定した除水速度が適正かどうかの判断ができます。また、透析中のKt/V（標準化透析量）をリアルタイムで測定できます。さらには、ポンプや回路の影響を除いた静脉圧の監視ができるため、脱血不良を起こす前に血管の狭窄等の状態を早期に発見することができます。

これからも県内各病院ならびに各診療科・診療部門と密な協力体制を構築しながら至誠ある血液浄化治療を提供し、島根県の透析医療に貢献して参ります。

問い合わせ先 血液浄化治療部 TEL 0853-20-2460



2021年9月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2021年9月

お知らせ



情報誌 ReQuest のご紹介

リハビリテーション部 療法士長 えぐさ 江草 典政 のりまさ

「ReQuest」はリハビリテーション (Rehabilitation) と探求 (Quest) を組み合わせた造語です。「院内の様々な現場の疑問などのリクエストに応えるため、リハビリテーション部からの情報を届けたい」そして、「患者さんがさらに快適に入院生活を送るためにできる事があれば、私たちからも皆さんへリクエストしたい」という想いが詰まっています。

リハビリテーションは整形外科や脳神経疾患の方の運動療法を担当する小さな領域から始まりましたが、近年では呼吸・循環器疾患による内部障害や各種疾患の治療後の廃用症候群、がん患者さん、小児領域に至る多くの領域に広がりました。

私たちは普段、多くの方がイメージされる機能回復のための運動療法のみならず「日常生活能力の支援」「生活環境の調整」のための様々な技術を用いながら患者さんの支援にあたります。こういった患者さんの支援の知識が「病院の皆さんの役にも立つのではないか?」というのが ReQuest 発行のきっかけです。

2か月に1回程度、様々な情報を届けします。リハビリテーション関連でお困りの事があれば QR コードからぜひお問い合わせ下さい。

そして、ReQuest と時を同じく、「未来のカラダに」という広報もスタートしました。こちらは院内の皆さんの健康作りのための情報を掲載していますので合わせて手に取って見て頂けますと幸いです。



問合せ先 リハビリテーション部 TEL 0853-20-2457



2021年9月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



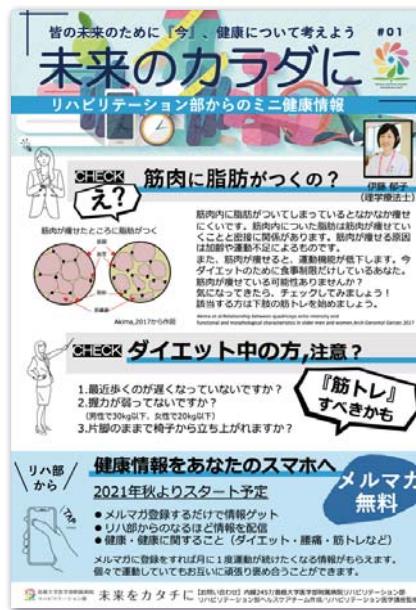
島大病院ニュース 2021年9月

ご報告

8月から

「追加の新生児マスクリーニング検査」を開始しました

こばやし ひろのり
検査部 講師 小林 弘典



新生児マスクリーニング (NBS) とは、生まれつき病気を、出生直後未発症の時点で発見し治療することで、赤ちゃんを守る社会全体の取り組みです。当院は島根県からの委託を受けて 25 疾患の NBS 検査を実施しています。

近年の検査法や治療法の進歩によって、様々な病気の子ども達を NBS で救うことが出来るようになってきました。国内でも一部の地域でいくつかの疾患を対象とした実証研究 (パイロット研究) が開始されています。一例を紹介すると、重症複合免疫不全症 (SCID) は、生まれつき免疫力が非常に弱い病気です。この病気では知らずにロタウイルスワクチンなどの生ワクチンを接種してしまうと命に関わる副反応を起こします。未発症の段階での「造血幹細胞移植」がとても有効である事が分かっていますが、近年、早期に発見する検査法が開発されました。2020 年 10 月のロタウイルスワクチン定期接種化を契機に SCID をスクリーニングする地域が増えています。

当院でも「追加の新生児マスクリーニング」として、9 疾患を対象に検査を提供する体制を整えました (実費負担あり)。2021 年 8 月からは当院で出生された赤ちゃんを対象として開始しました。今後は「追加の新生児マスクリーニング」にご賛同いただける県内の医療機関で出生した赤ちゃんを対象として順次検査を提供させていただく予定です。

問合せ先 難病総合治療センター検査部門 PHS : 070-5050-5214 (平日 9:00 ~ 16:00)

追加の新生児マスクリーニング検査のご案内

通常の新生児マスクリーニング検査に加えて、以下の検査を追加して行なう事ができます。

- 重症複合免疫不全症 (SCID)
- ADA欠損症
- B細胞欠損症
- 脊髄性筋萎縮症 (SMA)
- ムコ多糖症 I型、II型
- ポンベ病
- 副腎白質ジストロフィー
- ホモシスチン尿症 3型



2021年9月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

